



SANKEN
HIROSHIMA JAPAN

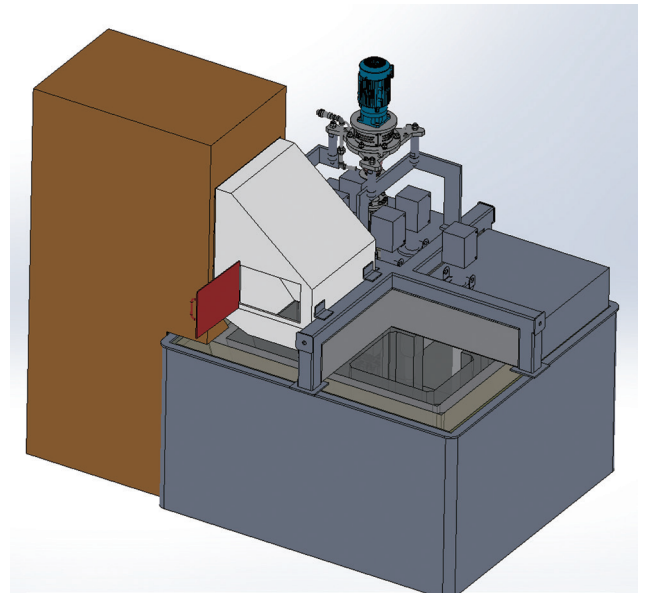
次世代型電気式浸漬溶解保持炉

S-MICIⅡ

Sanken
Melting system by
Immersion and
Circulation

主仕样例

ヒータ容量	130kW
溶解能力	250kg/hr
保持容量	1,550kg
出湯温度	680~720±3℃



特徴

A 炉体のコンパクト化で熱効率80%を達成

- 高出力ヒータの採用
- 溶湯循環による高いヒータ熱伝達効

D 環境負荷の軽減

- CO₂排出ゼロ
- 炉体の断熱強化

B 酸化ロスの低減

- ヒータ採用による雰囲気温度の低温下
- 材料の少量溶解

E すぐれた溶湯品質

- スキム室を設け、清掃性と鎮静時間を確保
- ヒータ採用によるガス吸収量の低減

C 高い温度精度

- 材料溶解室で最適な溶解速度をコントロール
- 高出力ヒータによる余裕を持った汲出室の温度制御

